

The Japan Observatory at Milano Unica 2027SS

第 42 回 Milano Unica

- 開催期間：2026 年 1 月 20 日（火）～22 日（木）
- 会場：Rho Fieramilano (Hall 8, 12, 16, 20)
- 主催：Milano Unica Secretariat



第 24 回 The Japan Observatory at MU 2027SS

- 会場：Rho Fieramilano (ロー・フィエラミラノ)
- 出展者数：53 社（企業の重複を除いた実数）
東レ株は 2 部署、小松マテーレ株は団体出展に加え Outside エリアにも単独出展。
エントリー社数 JOB : 41 社、JOB NEXT10 社、Outside JOB : 4 社
- JOB 展開面積：合計 828 m² (JOB : 666 m² / JOB NEXT : 90 m² / トレンド & インデックスコーナー : 72 m²)
- Outside JOB 展開面積：288 m²
- 日本の総展開規模：1,116 m²
- 主催：一般社団法人 日本ファッショングループ推進機構、独立行政法人 日本貿易振興機構 (JETRO)
- 後援：経済産業省、日本繊維産業連盟

7 月に開催されたテキスタイルの世界的な見本市『第 41 回ミラノ・ウニカ』(MU) は、海外来場者数が前年比（2024 年同時期比）で +10% と大幅に増加し、繊維・ファッショングループとしての価値を高めています。

次回ミラノ・ウニカ展は、ミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピックの開催前の 1 月 20 日から 3 日間、イタリア・ミラノのロー・フィエラミラノで開催します。

日本からは日本ファッショント・ウィーク推進機構（JFWO）、日本貿易振興機構（JETRO）主催の「The Japan Observatory」（JOB）at Milano Unica 2027SS が出演します。

超円安環境が続く今、輸出に力を入れる企業は増加傾向にあります。今回の JOB は、新規出展 6 社を迎える延べ 53 社で展開します。注目のトレンドコーナーでは、前回展につづき、バーチャルリアリティーで日本の産地を体感・見学できる「産地フォーカス」疑似体験コーナーを設けます。

JOB エリアでは、来場バイヤー及び出展者の皆様に、感謝をこめたスペシャルサービスを企画するなど、活気に満ちた環境としてビジネスマッチングの場を創出します。

産地フォーカス「尾州ウール」　日本の産地 VR(仮想現実)疑似体験

日本テキスタイル唯一無二のクオリティは、日本各地の地域特色を生かして独自に継承・発展してきた繊維産地の形成が基盤です。産地フォーカスはこうした日本の繊維産地の魅力を取り上げて世界に向けてプロモーションする企画です。第二弾は「尾州ウール」。匠の技術が求められる「ウール」の生産現場尾州産地の、開発プロセスを、バーチャルリアリティーで体感できる疑似体験コーナーです。ドローンによる迫力ある工場現場の映像に加え、尾州を代表する若手からベテランまでのテキスタイル・デザイナーが、それぞれのものづくりへの想いを語ります。



JAPAN トレンド & インデックス コーナー

2027SS のトレンドコンセプトは “時の間” 多様性にとみ、たがいを認め合い共存してゆくために、その間を取りながら前に進んで行く思いやりが必要な時代に変わりつつあります。今その間の取り方が必要な時。今回の施工プランのテーマは「間」。空間の“あいだ”、時と時や音と音の“すきま”など、そこに流れる気配や空気、時間を表現し、環境演出します。

◆2027 SS トレンド外観：<時の間>

時は激しく動いています。暗雲漂う世界にどんな先があるのか？複雑な今、何処に向かうのか？そんな中、時の間、束の間、人と人との間、間の取り方が必要ではないでしょうか？自由と多様性に富み、互いの個性や弱さを認め合う時代に変わりつつあります。今その間を取りながら個々が分かち合い響き合う時へ、そして喜びや悲しみを他者と共に存してお互いに思いやりを持つことが大事です。

◆ 全体的カラー：

懐かしくドラマティックに溶け込み、詩情を感じさせるカラーと、透明性と美意識を感じさせる美しくメローでちょっとキッキュな魅力あるカラー。

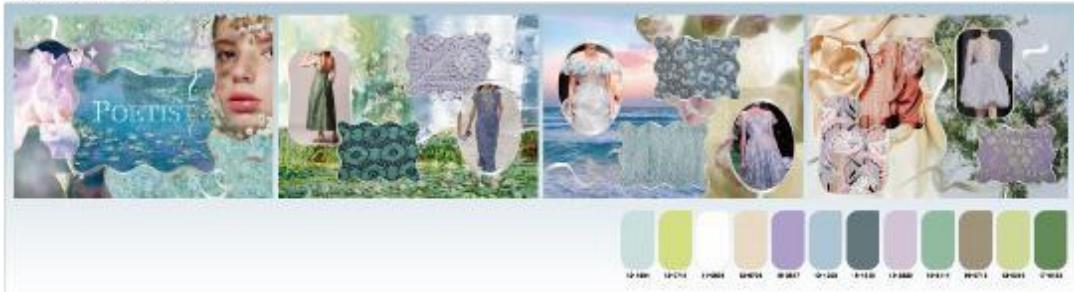
◆ 2027spring/Summer (4 テーマ) :

- ◇ 詩情派 - Poetist -
- ◇ 旅人（異邦人） - Voyager (Traveller) -
- ◇ 愛しのマシーン - My Dear Machine -
- ◇ ガレージヴィンテージ - Garage Vintage -

Textile Division

January 2026

POETIST - 詩情派



VOYAGER (Traveller) - 旅人 (異邦人)



MY DEAR MACHINE - 愛しのマシーン



GARAGE VINTAGE - ガレージヴィンテージ



●出展者リスト ★新規出展

The JOB at Milano Unica 2027SS

小間番号	社名	出展品
12.JOB E01/E03	宇仁織維(株)	世界的な酷暑に立ち向かうために開発した、弊社の強みである薄地の幅広いバリエーションをご覧ください。
12.JOB D01/D03	(株)エイガールズ	洗練されたデザイン 独自のハイスタンダードな Material 新しいテクノロジー、開発素材
12.JOB E07	小原屋織維(株)	日本独自の染色・加工を施した、特別な生地をストックしながら企画・販売しています。
12.JOB A01/A03/A05	カジレーネ(株)	KAJIFは、常にお客様に感動して頂きたい生地ブランドでありたいと考えています。軽量、機能性に表情感を伴った合織生地です。また和紙生地ブランドPPXは、軽量、しなやかさ、さらっとした肌触りに和紙の機能を活かした、生地ブランドです。
12.JOB B05	カネマサ莫大小(株)	ハイゲージ・ニット機(36G-46G)を使用したカネマサ品質の素材群。シャツ、スーツ向けのハイゲージ・ウールを紹介します。
12.JOB F05	京セラドキュメントソリューションズ(株)	革新的テキスタイルプリンターFOREARTHはwater free conceptを実現。多様な生地への印刷を可能にし、デザインの可能性を広げます。
12.JOB E04	桑村織維(株)	それぞれの部門が先見性と独創性を発揮しながらシャツやアウター向けとストック販売を展開
12.JOB A01/A03/A05	小松マテーレ(株)	当社独自開発した合織織物およびニットの製品染用素材
12.JOB F04	栄レース(株)	日本品質で作られたリバーレースの贅沢を体感してください。
12.JOB B02/B04	ササキセルム(株)	『尾州 HERITAGE』ブランドを「Luxury」「Casual」「Recycle」「RWS 素材」のカテゴリーに分類しています。
12.JOB C08	(株)サンウェル	日本の職人技による豊富なトレンド素材を自社ストックにより迅速に提供します。
12.JOB A07	サンコロナ小田(株)	自社の分織加工機による糸を使用した多岐に渡るエレガンスファッションドレス素材を取り扱っています。主力商品であるオーガンザ他、多色展開で用意しております。

12.JOB E05	篠原テキスタイル(株)	1907年創業の歴史ある機屋で、昔ながらのヴィンテージデニムや、日本の伝統的な技法を取り入れた特別なデニム素材を提案させて頂きます。
12.JOB E08	(株)ジャパンブルー	ヴィンテージデニムを分析して開発したリプロ系セルヴィッチデニム
12.JOB D02	スパイバー(株)	植物由来の原料を元に独自の発酵技術を用いて作られる新素材「Brewed Protein™ fiber」を製造販売しています。
12.JOB F02	双日ファッショングループ(株)	1,000以上の自社オリジナル生地を日本・海外のネットワークを駆使して生産し、自社倉庫にて常時ストックして24時間オンラインでオーダーが可能です。
12.JOB E02	(株)大長	リネン・コットン・ウールの本来の魅力を、日本の織細な技で引き出した天然素材の生地。
12.JOB C01/C03	瀧定名古屋(株)	一本の糸から、一つの発想から、一枚のテキスタイルから'未来を織りなしていきます'。
12.JOB F08	タキヒヨー(株)	18世紀の技術を継承したモノづくり
12.JOB F01/F03	TANGO OPEN	1300年にわたるシルクの産地『丹後』の匠な織りの伝統は、時代を超えたエレガンスを守りながら、インスピレーションを与え続けています。
12.JOB E06	(株)チクマ	我々はメンズ・レディースのサステナブルなアウター素材の生地を専門に扱っております。
12.JOB E05	中国紡織(株) ★	日本製デニム、様々な後染め生地、綿、麻、混紡素材など。サステナブルなオーガニック綿やリサイクル素材。伝統的なインディゴ抜染、弊社しかできない、段落ち抜染の生地。 オリジナルセルビッチデニム
12.JOB B02/B04	恒川織物(株) ★	1927年、日本の尾州で創業した恒川織物は、高品質なリネン・コットン・ウールとT/R生地を製造しています。
12.JOB D07	(株)東紀織維	独自に開発した糸を特殊な編みや染色を組み合わせることで、ジャパンメイドのユニークな生地を生産しています。
12.JOB B07	(株)ドゥミルサンク	ウール、コットン、ビスコース、トリアセテート、ナイロン、ポリエステルを使用した自社生産の丸編み生地。当社の生地は、仕立て映えなどの織物の魅力的な特性と丸編みの快適さを兼ね備えています。
12.JOB A04	東レインターナショナル(株)	ナイロンとポリエステルによる機能テキスタイルと、独自糸加工技術によるデニム生地を是非会場にてご覧ください。
12.JOB A06	東レ(株) ウルトラスエード事業部	素材の進化で、まだ見ぬクリエイションを共に。 社会をより豊かに、美しく。

12.JOB A02	東レ(株) 婦人・紳士衣料事業部	東レの原材料 Technology、日本の匠技術、今日の essential 要素を組み合わせた東レ Japan オリジナルコレクション
12.JOB B02/B04	中伝毛織(株)	ウール、合纖織物、ニット素材のトップメーカー。幅広い販路に向けての素材作りが可能。
12.JOB F01/F03	NISHIJIN TEXTILES ★	私たちは、世界最高水準の織の技「西陣織」の、複雑かつ豪華なデザインで、新しい伝統的なテキスタイルを生み出しています。
12.JOB A01/A03/A05	福井経編興業(株)	経編生地製造メーカーのこだわりとして、PU 糸を使用したストレッチ素材や特殊な編組織により、立体的な生地や高通気機能を持った素材を提案致します。
12.JOB B06	フジサキテキスタイル(株)	日本全国に仕入先があり、幅広い商品を取り揃えております。お客様のご要望の生地をご提案致します。
12.JOB B08	(株)ベルテックス	セレブリティカジュアルをテーマに、綿を中心としたこだわりカジュアル素材、シルク・ウールなどを使用したオリジナル高級素材を開発、カラーストック。
12.JOB D05	北高(株)	プリント地、独自の染色素材、オーガニック素材やメンズ向けの素材を紹介します。
12.JOB E02	(株)麻絲商会	100%リネンとリネン混紡の多様な生地を提案する最先端の企業です。
12.JOB A01/A03/A05	丸井織物(株)	合成繊維で伝統的な天然繊維に見間違えるほど完成された商品で、合纖繊維の機能性をもったテキスタイルを提案します。
12.JOB F06	(株)丸進	環境にも配慮された多岐にわたる副資材を提供
12.JOB D05	ミナミ(株)	オリジナルの先染め得意として、古着を再現した、表情豊かな生地を展開しております。ストックサービスも展開しております。
12.JOB B02/B04	御幸毛織(株)	弊社の主軸であるウールマナードを 1/90 以上の細番手を中心に展開。その他ウール 100%、ウール/キュプラ、シルクなどの組成の物を織物から丸編み素材で展開します。
12.JOB A01/A03/A05	(株)ムツミテキスタイル	ムツミテキスタイルは、メンズ・レディスのジャージ素材、スポーツウェア・機能素材の丸編製造・販売に特化した企業です。
12.JOB C06	明林繊維(株)	私たちはアセテート、ビスコース、キュプラなどの再生繊維から、伝統と革新を融合したテキスタイル製品を生産しています。

小間番号	社名	出展品
12.JOB D08	(株)シャンブレー	着心地がよく、タイムレスで洋服作りになくてはならない素材。
12.JOB D08	コスモテキスタイル(株)	強撚コットンとサステナブル素材を用い、日本で仕立てた上質で洗練されたテキスタイル。
12.JOB D06	Curelabo(株)	廃棄されるバガスから作られた糸は軽量で吸水速乾性に優れ、抗菌防臭効果にも優れています。
12.JOB C07	(株)今正ファブリック	ヨネザワは繊維産地として長い歴史を持つ産地です。弊社はその米沢にあります。この機会に是非ヨネザワを知ってください。
12.JOB D04	日本蚕毛染色(株)	過程の洗濯機で何度も風合い・光沢がそのまま維持されるシルク及びシルク複合素材。ドライクリーニングを必要としない環境にやさしい素材。
12.JOB C05	三政テキスタイル(株)-MAYFIS	弊社独自の細番手のハイクオリティなシャツ生地と、旧織機で独自に開発したジャケット・パンツ素材を提案します。
12.JOB C05	成和第一産業(株) ★	綿素材を中心に細番手から太番手を効率でなく品質を重視し、日本の要素を秘めた着物地からの縞柄や刺子などをアレンジした素材
12.JOB D04	豊田絲業(株) ★	ガス焼き加工を自ら行っているので焼き加減の調整や、オリジナルの撚糸方法を取り入れ、他にはない製品を作っております。
12.JOB D06	(株)植山テキスタイル	綿を中心とした原料の選定から、仕上げ工程までこだわり抜き、独特の風合いを持つ生地を提供しています。また日本の伝統的な生地産地である播州産地に自社工場を保有しており、先染め織物を中心とした在庫を揃えています。
12.JOB C07	ユメテックス(株)	日本の各産地の特徴のある加工、日本の後加工をすることで新たなものづくりの生地を作りあげています。

Outside The JOB at Milano Unica 2027SS

小間番号	出展者名
12.A38/A40/A42	デビス(株)
12.G34/G36/G38	小松マテーレ(株)
16.E03/E05/E07	スタイルム瀧定大阪(株)
12.C04/C06/C08	(株)ソアロン ★

JOB 初出展企業を紹介

●中国紡織(株)／インディゴ染設備を

中国紡織は、MUについて「EU圏のトップメゾンが集う。トレンドの最先端であり、とても影響力のある市場だ」とみています。今回のMU初出展は「世界の繊維ファッション業界と繋がり、独自の技術素材も発信したい」考えからです。

今回は独自で開発した藍後染め機の生地を提案します。これは色の再現性に優れ藍染の量産を実現します。また、インディゴ抜染加工のシリーズを展示します。

同社にはデニム生地の生産背景、生産背景設備があります。しかもグループ会社（山陽染工）と協力しての独自の表現方法も確立しました。日本らしさを追及したテキスタイルを創出しています。



●成和第一産業(株)／遠州産地の技術

「国内の販路が縮小する中、海外販路の開拓に繋げるだけでなく、遠州産地の復活をかけて当社商品を開発・販売していくたい」。成和第一産業は、初出展の目的をこのように話しています。サステナブル素材への切り替え及び透明性の確保を求められています。円安ということもあります、欧州市場は非常に魅力的と見ています。

今回はシャトル機で織られた「ハイツイストチノ」を出品。経糸に60/3強撚糸を使用し、シャトル織機で丁寧に織り上げた素材です。「刺し子ドビー」生地の表面に凹凸があり、この凹凸が独特の視覚的・触覚的な魅力、優しい質感を生みました。上質な細番手(100/1)使用の高密度サテン生地に特殊加工を施して光沢、ハリ感を出した上で、揉み込んで仕上げた素材もあります。

●恒川織物(株)／リネンと麻

「欧米市場は今後も大量消費から価値消費への転換が一層進むと考えている」という恒川織物。特に欧州では環境認証やトレーサビリティがブランド価値と直結し、リネンやラミーといった天然繊維の再評価が進んでいると分析します。MU出展は「次の時代の方向性を共有する対話の場として非常に貴重」と話していました。

出品するのは、「TEMA」。リネンに「快適な弾性(Comfort Stretch)」を付与した次世代ファブリックです。「SOMA」は清涼性、ハリ感、速乾性を極限まで引き出した高機能ラミー素材シリーズで、クリアでドライな質感を最大化しました。「LUNACEL」は、セルロース系再生繊維とコラーゲンを組み合わせたもの。“柔らかさ・落ち感・光沢・通気”をバランスよく持つ高次元ハイブリッド素材です。



●NISHIJIN TEXTILES／西陣織技術を訴求

NISHIJIN TEXTILES は、「日本の伝統工芸である西陣織を世界に向けて発信するために出展」します。欧州は「日本のハイエンドのテキスタイルを受け入れてくれる世界最上の市場」と認識。出展する「MU は世界中のバイヤーが集まるところも魅力」と語っています。

数あるコレクションの中から、アルヌーボーで知られるミュシャ (Mucha) 財団とライセンス契約を結び、精緻にミュシャの名作を織り上げた織物や伝統とモダンが融合した艶やかな「鶴」を日本古来の優美な柄で表現したものや、黒を基調に、艶やかな黒箔を贅沢に使用して仕上げた生地、加えて 100 年以上受け継がれる西陣の高度な技術により、わずかな凹凸まで精密に織り上げた、奥行きと豊かな表情を持った生地等を出品します。



●豊田絲業(株)／糸加工に特徴

初出展の豊田絲業は、原料となる糸への加工 4 種類を自社設備にて行います。それにより、セオリーがないアプローチの仕方や途中経過を見ながら微調整ができるところに、同社の特徴があります。

ほとんど出回っていない極細綿糸 200/2 を用いて、糸密度を高める加工と生地密度を高めた編み方を施し、シルクのような生地に仕上げました。きめの細かさとしなやかさを表現しています。また、ラミー 100% を使用しながらも糸を引き締める加工で肌触りが良く、透け感のある生地に仕上げました。レギュラー染色による淡色でノスタルジックな表現です。さらに、一般的な綿糸中番手を使いますが、独自の糸加工で立体的で膨らみのある生地にしました。まるで合織のような肌触りとしっかりと重さを付けた安心感のある着用感になりました。

プレスリリースに関するお問い合わせ先：

一般社団法人日本ファッショ・ウィーク推進機構 (JFWO)

テキスタイル事業事務局

mu@japancreation.com

<https://www.jfwtextile.com>